



PORSCHE

17. Apr. 2017

Vol.56/17

ニュー ポルシェ 911 RSR が
FIA 世界耐久選手権 シーズン開幕戦を表彰台で飾る

GT レース - FIA 世界耐久選手権 (WEC)、シルバーストーン開幕戦、イギリス

ポルシェ AG (本社: ドイツ、シュトゥットガルト 社長: オリバー・ブルーメ) のニューポルシェ 911RSR は、FIA 世界耐久選手権の開幕戦であるシルバーストーン 6 時間レースを表彰台で飾り、今シーズンをスタートしました。91 号車のステアリングを握るリヒャルト・リーツ (オーストリア) /フレデリック・マコヴィツキ (フランス) 組は、50,000 人以上の観客を集めたこの復活祭の日曜日に GTE-Pro クラスの 3 番グリッドからスタートしました。自動車メーカー 4 社が参戦するこのカテゴリーは、シーズンのスタートからスリリングな展開の 171 周となりファンを熱狂させました。WEC ポルシェ GT チームは、米国とカナダで開催される IMSA スポーツカー選手権と同じく、2017 年シーズンのためにヴァイザッハで新開発された 911 RSR レーシングカー (最高出力 510PS) で参戦しました。

今年の FIA 世界耐久選手権 (WEC) の開幕戦であるシルバーストーンサーキットには 27 台の車が並びました。スタート時、イギリスのミッドランズにある名高いサーキットの上空は雲で覆われ、冷たい風が吹き、レース後半には軽いにわか雨が降りました。しかし、観覧席の熱心なモーターレースファンやドライバーの気持ちが削がれることはありません。コース上は部分的には濡れてはいるものの、ウェットタイヤに交換することなくスリックタイヤを維持し、果敢な闘志と見事なパッシングテクニックで観客を魅了しました。今シーズンはレースごとに 6 セットではなく 4 セットのタイヤしか使用できないため、ポルシェ GT チームは予選ではあえてタイヤをセーブし、決勝に臨みました。

戦略が功を奏して、91 号車のフレデリック・マコヴィツキは、1 周目に順位を 3 つ上げ、10 周目には 3 位につけました。彼のスリップストリームにはチームメイトのミカエル・クリステンセン (92 号車) が入ります。クリステンセンは連続して最速のラップタイムを叩き出し、常に先頭集団を射程内に入れていました。わずか 30 分後に、マコヴィツキは 2 位に、クリステンセンは 3 位に上がりました。雨が降り始めてもマコヴィツキの闘志が衰えることはありません。27 周目には初めて首位を捕らえて攻防戦を繰り広げつつ、2 時間後にリヒャルト・リーツに交代します。92 号車を引き継いだケヴィン・エストルは、先頭集団の追撃を続けます。しかし、その道半ばで彼の 911 RSR にテクニカルトラブルが発生しました。

一方、フレデリック・マコヴィツキは見事な走りを見せました。ゴールの 2 時間前にセーフティカーが出動したとき、リヒャルト・リーツから引き継ぎ、最速ラップを打ち立てます。残り 1 時間 12 分の時点で、首位を走っている最中に緊急フェューエルストップします。この段階でライバルは最後のピットストップをすでに済ませていました。そのためマコヴィツキは 4 位でレースに戻りますが、最終ラップで見事に 3 位に振り返りました。ゴール寸前の追い上げによる表彰台獲得によって、2017 年シーズンの幸先よいスタートを切ることができました。

GTE-Am クラスでも、ポルシェは活躍を見せました。デンプシー・プロトン・レーシング カスターマーチームから 911 RSR を駆る若いマッテオ・カイローリ（イタリア）、クリスティアン・リード（ドイツ）、マービン・ディエンスト（ドイツ）のチームが劇的な最終ラップで 3 位を獲得しました。マッテオ・カイローリは前日にシルバーストーンで開催されたヨーロピアンル・マン シリーズ（ELMS）開幕戦でもプロトンの 911 RSR で 2 位を飾っています。

FIA 世界耐久選手権（WEC）第 2 戦は、5 月 6 日にスパフランコルシャン/ベルギーで開催されます。

レース後のコメント

ポルシェ・モータースポーツ責任者のフランク＝シュテッフェン・バリサー博士：「GTE-Pro は素晴らしいレースでした。見事な追い越しで接戦となりました。チームをアピールする良い機会になったと思います。観客の皆さんは支払ったお金に値するレースを見ることができたと思います。戦略的に難しいレースで、コーションフェーズによってさらに面白くなりました。91 号車がテクニカルトラブルでリタイヤしたのは残念でした。原因はまだはっきりしていません。しかし基本的に好調で、次のレースへ向け自信を与えてくれました。GTE-Am クラスもスタートからゴールまで魅力的なレースでした。劇的な最終ラップで、デンプシー・プロトン・レーシング カスターマーチームも 3 位を飾り、チームの実力が証明されました。」

リハルト・リーツ（911 RSR #91）：「特に雨の中でのスリックタイヤによる私のスティントは難しい場面でした。表彰台を飾れてうれしいです。WEC シーズンの素晴らしいスタートといえます。」

フレデリック・マコヴィッキ（911 RSR #91）：「このタフなレースで表彰台を飾ることができて良かったです。不運な状況もありましたが、走り自体は好調でした。予選を考えると 3 位は満足できる結果です。次のレースにつなげたいと思います。」

ケヴィン・エストル（911 RSR #92）：「911 RSR はスタートから好調でした。戦略上、レースの最後の 2 時間までタイヤをもたせることが重要でした。全てが計画どおりに運びましたが、ダブルスティント終盤に突然パワーがなくなり、煙と炎がでました。開幕戦でこの結果は残念でした。」

ミカエル・クリステンセン（911 RSR #92）：「序盤は本当に好調でした。予選を抑え決勝に備える戦略のおかげでタイヤもうまくセーブされました。数人のライバルを追い抜いて、トップに迫り、一時は 3 位まで上がることができました。この点はポジティブに考えるべきでしょう。次のスパが楽しみです。」

マッテオ・カイローリ（911 RSR #77）：「初めて経験する WEC シーズンに素晴らしいスタートを切ることができました。良い経験になりました。3 位は本当にうれしいです。最終ラップは幸運でした。チームのおかげです。」

レース結果

GTE-Pro クラス

1. プリオール/ティンケル/デラニ（イギリス/イギリス/ブラジル）、フォード GT、171 周
2. カラド/ピエール・ガイディ（イタリア/イタリア）、フェラーリ 488 GTE、171
3. リーツ/マコヴィッキ（オーストリア/フランス）、ポルシェ 911 RSR、171
4. ミュッケ/プラ/ジョンソン（ドイツ/フランス/米国）、フォード GT、171
5. リゴン/バード（イタリア/イギリス）、フェラーリ 488 GTE、170
6. ティーム/ソーレンセン/スタナウェイ（デンマーク/デンマーク/ニュージーランド）、アストンマーチン、170

7. ターナー/アダム/セラ (イギリス/イギリス/ブラジル)、アストンマーチン、168
8. クリステンセン/エストル (デンマーク/フランス)、ポルシェ 911 RSR、102

GTE-Am クラス

1. モック/澤/グリフィン (マレーシア/日本/アイルランド)、フェラーリ 488 GTE、166 周
 2. ダララナ/ラミー/ラウダ (カナダ/ポルトガル/オーストリア)、アストンマーチン、166
 3. リード/カイローリ/ディエンスト (ドイツ/イタリア/ドイツ)、ポルシェ 911 RSR、166
 4. ウェインライト/バーカー/フォスター (イギリス/イギリス/イギリス)、ポルシェ 911 RSR、143
- フロール/カステラッチ/モリナ (チェコ/イタリア/スペイン)、フェラーリ 488 GTE、予選通過せず

<p style="text-align: center;">＜本件に関する読者からのお問い合わせ先＞ ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911 ポルシェ ホームページ http://www.porsche.com/japan/</p>
